

会費納入状況(令和4年度まで)

令和5年11月吉日

北水同窓会幹事会

【会費総額と納入率の推移】

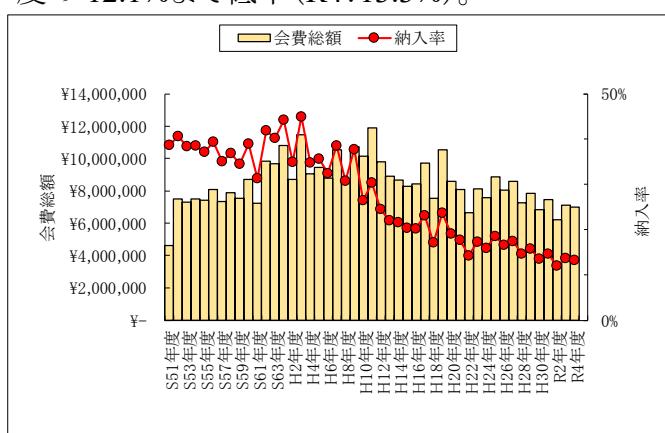
会費:

～昭和(S)51年度:¥2,000

S52～平成(H)9年度(1977～1997年):¥3,000

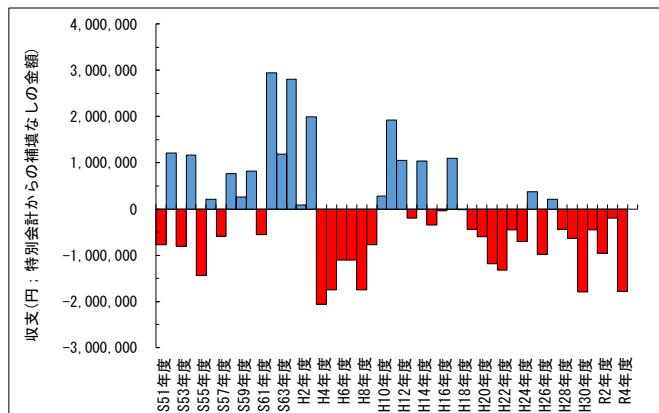
H10～:¥4,000

納入率(=納入会費総額÷正会員現在数)は S52 の 40.6%から、コロナ下の令和(R)2 年度の 12.1%まで低下(R4:13.3%)。



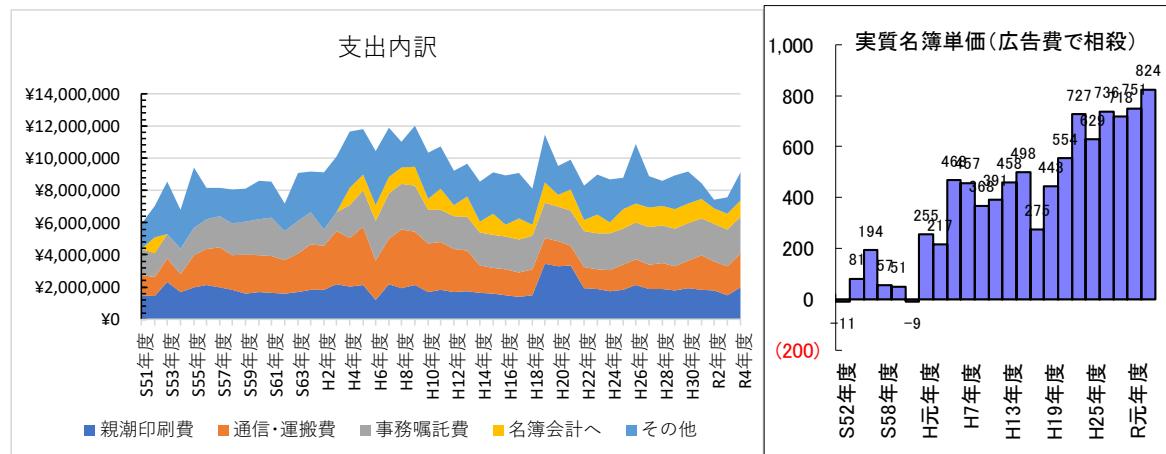
【収支】

年々悪化しており、最近5年間で年平均104万円の赤字。このため、H25に200万円、H30、R2、R5に各300万円(計1,100万円)を特別会計(貯蓄;本同窓会75周年の寄付等の残金)から一般会計に補填。R4末特別会計残額は約1,332万円なので、あと10年内に貯蓄なしに転落することが予想されます。(なお、S62頃の黒字は、タックシールに「会費未納」と印刷、効果があったが、批判が多かったために廃止。)



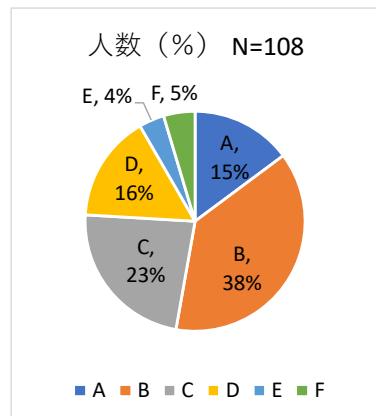
【支出内訳】

- 支出内訳の構成比の年変化は、ほとんどありません。
- 名簿発行費は S52 頃には広告費のみで賄うことができていました。現在は 3 年に 1 回発行で、直近の R4 は印刷費が 1 冊あたり 1,067 円(広告費を除くと 824 円)かかっており、送料などを含めて年平均約 100 万円の費用がかかっています。
- 通信費は、名簿や親潮の発行回数の削減や業者の変更で節約してきました。今後高騰が見込まれます。
- 人件費(事務委託費)は 30 年間ほとんど増やしていません。



【H31 名簿アンケート結果(親潮 312 号 p.22)】

81%が「全員配布は止めてよい」(B,C,D,E), 42%が「条件付き印刷体廃止」(B,E)との意見です。



- A) 15%, 今まで通りに印刷体を発行し、配布したほうが良い
- B) 38%, インターネットで会員情報を検索出来れば、印刷体は廃止してよい
- C) 23%, インターネットで会員情報を検索出来れば、印刷体は希望者のみへの配布でよい
- D) 16%, 印刷体の希望者に配布するのみでよい(インターネット検索なし)
- E) 4%, 印刷体を廃止し、インターネット会員検索も必要ない
- F) 5%, その他(印刷体の希望者に実費で販売する、発行間隔を長くする、等)